



## コミュニティ・スクール 第三回委員会開催

日時 九月十一日(金) 十時より

場所 本校二階ランチルーム

出席者 十名

内容・議題

①委員長挨拶

②校長挨拶

③熟議「令和8年度全国学力・学習状況調査の結果」について

④事務連絡

今年度、第三回目のコミュニティ・スクール委員会が開催されました。

### ◆委員長挨拶

低気圧と子供の情緒への配慮では、「大人は低気圧で憂鬱になることがあるが子供は逆に気持ちが高ぶり、興奮しやすくなる傾向があります」という専門的な視点からのお話がありました。季節の変わり目の落ち着かない行動を「気象病」の一種として理解し、大人が一步引いて「深呼吸」を促すような余裕をもって接することの大切さが共有されました。

### ◆校長挨拶

四十五日間の夏休みには各町会の皆様には、夏祭り等を通じて子供たちを温かく育てていただいたことに深い感謝を伝えました。また、校長自身が今夏、無線クラブの子どもたちと共に挑んだ三度目の富士登山のエピソードでは、「デジタル画面では決して分からない、本物の実体験から得られる感動」こそが子供たちの成長の根幹であるとの強い気持ちが伝えられました。

◆熟議「令和8年度全国学力・学習状況調査の結果」について全国平均を上回る成果が見られました。

・全国学力・学習状況調査の結果と分析

校長から、六年生を対象とした調査結果を伝えました。全体として、昨年度より正答率が向上し、全国平均を上回る成果も見られました。分析の中では、**2**に頼らない独自の手法で詳細な分析結果を出しました。

・「結果」 国語六十一%、算数六〇%。昨年度より向上し全国平均を上回りましたが、東京都平均には届かず、課題もありました。

・「成果」 直前に行った「考えないと答えが出ない問題を行うなど」練習などの成果により、最後まで諦めずに書く姿勢が身に付き、無解答率が減少しました。

・「課題」 国語は漢字と記述力、算数は百分率(割合)や多段階の論理的思考に弱さが見られます。

### ◆授業改善推進プランと学校の取り組み

・先行学習…何から手をつけて良いか悩む子に、先に知識を教えて自信を持たせ、活用へ繋げる指導を導入します。

・共書き…(ともがき) 先生の言葉を集中して聞き、一斉に書く訓練を通じて、学力の定着と集中力を養います。

・多様な学び…「2」端末(オクリンク)や地域人材を招いたゲスト授業を積極的に活用します。

・一年生の「2」活用では、「オクリンク」を使い、見つけた虫を写真で共有し、クラス全員で「いいね」と評価し合うなど、低学年から高度な活用が進んでいます。

・「地域に愛される子は挨拶ができる子」というスローガンのもと、校長と子どもがどちらが先に挨拶できるかを競う指導により、校内の挨拶は改善されています。

・安全、防災の強化では、台風等の異常気象時、より迅速に登校の判断を伝えるための「防災マニュアル」の改善を検討しています。

・環境学習を深めるため、来年度の「ユネスコスクール」の申請を視野に入れ、エコポリスセンターとの連携をさらに強化していきます。